

令和2年7月14日  
北九州市産業経済局スタートアップ推進課  
電話：093-551-3605  
担当：(課長) 上野、(担当係長) 岡本

報道機関各位

## 内閣府の“スタートアップ・エコシステム推進拠点都市”に採択！

我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ<sup>※1</sup>・エコシステム<sup>※2</sup>の拠点の形成と発展を目的に、内閣府が「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」に係るスタートアップ・エコシステム拠点都市の募集を行い、本年2月、本市が代表の産学官からなるコンソーシアムが応募したところ、このたび“スタートアップ・エコシステム推進拠点都市”に認定されました。

スタートアップ・エコシステム推進拠点都市の認定を受け、コンソーシアムの代表である北橋市長より書面にてコメントを発表いたします。

※1 スタートアップ とは

革新的なアイデア・技術等をもとに、新しい形態のサービスやビジネスを展開する企業の中でも、短期間で急成長を志向する企業。

※2 スタートアップ・エコシステム とは

米国シリコンバレーで生まれた言葉であり、起業家、起業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関等が結びつき、スタートアップを次々と生み出し、それがまた優れた人材・技術・資金を呼び込み、発展を続けることを生態系になぞらえ、「スタートアップ・エコシステム」と呼んでいるもの。

### 1 提案について

#### (1) 概要

産学官の連携のもと、環境、ロボット、DX<sup>※3</sup>（デジタルトランスフォーメーション）等の分野を中心にスタートアップ企業を発掘、育成し、新たな産業を創出するとともに、ビジネスによるSDGs未来都市の実現を目指す。

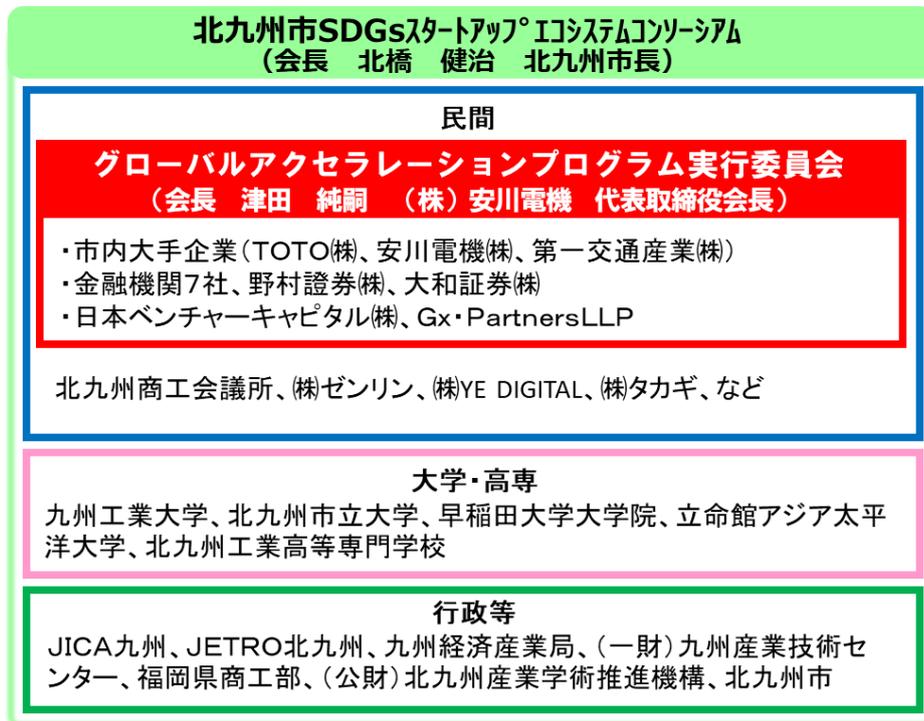
※3 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

## (2) 提案主体

名称：北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム

会長：北橋 健治（北九州市長）



## (3) ポイント

- ・ 地域の大学や支援機関等から将来有望なスタートアップ企業を選抜し、民間主体の「グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会」が徹底した伴走支援  
実行委員会会長：津田 純嗣 氏（株式会社安川電機 代表取締役会長）
- ・ 本市の強みである環境・ロボット分野に加え、DX関連のスタートアップの支援を通じて、ウイズコロナ、アフターコロナ時代の新しいビジネスシーンをスタートアップと市内企業のコラボレーションを通じて牽引
- ・ 国家戦略特区制度などを活用して、「小型無人機」、「IoT、無線通信等の電波利用」などの実証実験フィールドの提供
- ・ IoTに関する製品アイデアを募り、ものづくりスタートアップの製品事業化を目指す「北九州でIoT」に代表される、スタートアップと市内企業とのオープンイノベーションの促進
- ・ 市内グローバル企業のネットワークの活用と環境、水ビジネスで培ったアジア展開のネットワークを活用したグローバル展開支援

## (4) KPI（事業期間 2020年度から2024年度までの累計値）

- ① ユニコーン創出件数 1社
- ② 市内スタートアップ件数 100社
- ③ スタートアップビザ活用件数 20件